

学校名 川越市立高階西小学校
所在地 川越市藤間1102
電話 049-243-6072

1 本校の概要

本校は昭和49年に開校した。川越市の南に位置し、ふじみ野市と隣接している。校区には雑木林や野菜畑などが広がり、自然や農業を身近に感じることもできる、環境に恵まれた学校である。

本校の図書館は「ほんのもり」と呼ばれ、多くの児童に親しまれている。読書好きの児童を増やすため、教職員が家庭・地域、図書整理員等と協力しながら、日々読書活動の推進に努めている。



【図書館廊下掲示】

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書週習慣に係る取組
- ・家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア おすすめの本の紹介

図書室の「先生のおすすめの本」のコーナーに、教師のおすすめの本を並べたり、図書委員からのおすすめの本を紹介カードに書いて廊下に掲示したりして、児童の興味・関心を高める工夫をしている。



【先生のおすすめ本】



【図書委員おすすめ本】

イ 図書委員会の発表

全校児童の前で、図書室のルールや本の貸出しのきまりなどを劇やクイズで発表したり、おすすめの本を紹介したりした。図書委員が紹介した本は図書室でも大人気で、読書月間の意識を高める効果が見られた。

ウ 読書ビンゴ

読書月間に合わせて、読書ビンゴを行い、ビンゴになった児童には手作りのしおりやミニノートをプレゼントする活動を行った。これにより、



【読書ビンゴ】

他の月に比べて貸出し冊数が増え、意欲的に読書活動に取り組めた児童が増加した。

エ 本の福袋

普段読まないジャンルの本など、いろいろな本に親んでもらうねらいで、1月下旬から、図書委員会が低・中・高学年のそれぞれに向けて選んだ本を、3種類の福袋にして貸出す取組を行う。

オ 読書ボランティアによる読み聞かせ

本校では、毎週月曜日の業前の時間に読書タイムを設けており、そのうちの月1回程度は「学校応援団」の読書ボランティアによる読み聞かせを行っている。児童の発達段階に応じた本や季節の行事などに合わせた本を各学級で読み聞かせてもらうことで、児童はいろいろなお話の世界を楽しんでいる。



【読み聞かせの様子】

カ 大型絵本の読み聞かせ

10月の読書月間に合わせ、読書ボランティアの方々に大型絵本の読み聞かせをしていただいている。体育館での大きな本の読み聞かせに、児童は目を輝かせてお話を楽しんでいた。



【大型絵本の取組】

3 成果と今後の課題

(1) 成果

これらの取組により、読書好きの児童だけでなく、普段本を借りることが少ない児童も、読書に興味をもち図書室に足を運ぶようになった。

(2) 課題

読書月間は、児童の読書量や本の貸出し冊数が増えるが、終わってしまうと貸出し冊数が減少する傾向があるため、定期的に本の紹介を行うなど、継続して読書活動啓発の工夫を行う必要がある。

(3) おわりに

本校は12月に全学級の本棚が新しくなり、たくさん本を学級文庫に置けるようになった。児童がたくさん本を手にとれるよう、冬休み中に新しい本も購入した。今後も読書環境の充実を図り、読書好きの児童の育成に努めたい。